

# 中学地理プリント（過去問類似）

## 東北地方

名前

得点

/8

問1 東北地方の交通と地形について述べた次の文のうち、東北新幹線のルートの特徴を正しく説明しているものはどれですか。

(2023年 熊本県公立入試 類似)

1. 奥羽山脈の東側に広がる平野や盆地を通るため、阿武隈川や北上川といった太平洋側に注ぐ河川と交差する。
2. 日本海側の平野を結ぶルートであるため、最上川や信濃川といった日本最長クラスの河川を順に渡る。
3. 岩手県から青森県にかけては、火山が連なる山岳地帯を避けるために北上川の河口付近を走行する。
4. 福島県内では険しい山越えを避けるため、阿武隈川の支流である最上川の渓谷に沿って線路が敷かれている。

問2 日本の地域区分に関する問題です。日本地図において岩手県の位置が示されているとき、この県が含まれる地方区分の名称として正しいものを選びなさい。(2018年 北海道公立入試 類似)

1. 東北地方
2. 関東地方
3. 中部地方
4. 近畿地方

問3 東北地方の夏において、冷たく湿った北東風が吹き込み、奥羽山脈の東側で霧や低い雲が発生して低温や日照不足が続くことがあります。このような気象条件によって、米などの農作物の生育が妨げられる被害を何とといいますか。(2021年 群馬県公立入試 類似)

1. 冷害
2. 干害
3. 公害
4. 塩害

問4 東北地方では、米の農業生産額が全国シェアの約25%を超えるほど稲作が発展していますが、このように「日本の食料基地」と呼ばれるまでに至った背景や工夫として、最も適切な説明はどれですか。(2024年 福井公立入試 類似)

1. 寒冷な気候による冷害を克服するために、耐寒性の高い品種への改良や、大規模な土地改良事業が進められたから。
2. 冬の積雪を農業用水として利用するために、山間部の傾斜地を切り拓いて数多くの棚田を造り、生産量を増やしたから。
3. 化学肥料に頼らない伝統的な農法を維持し、小規模な家族経営の農家が多品目の米を少しずつ生産する体制を守ってきたから。
4. 政府の減反政策に対応するため、米の生産面積を縮小し、付加価値の高い果樹栽培へ全面的に転換を図ったから。

問5 東北地方の交通網について述べた文として、福島県の地理的特徴をふまえて正しい説明となっているものを選びなさい。(2022年 京都公立入試 類似)

1. 日本で最も長い国道4号が県内を南北に貫いており、関東地方と東北地方を結ぶ物流の大動脈となっている。
2. 東北地方の北端に位置するため、国道4号の終点として北海道へのフェリー航路と直結している。
3. 県内を国道4号が通過しているが、この国道は日本海沿いに整備されているため秋田県や山形県へのアクセスに優れている。
4. 国道4号は栃木県と新潟県の間を通過するルートとなっており、福島県内を通ることはない。

問6 日本の地域区分における都道府県の境界について述べた文として、正しいものはどれですか。(2020年 和歌山公立入試 類似)

1. 福島県は、東北地方に属しながら関東地方の県と境界を接している。
2. 宮城県は、東北地方の県の中で最も南に位置し、千葉県と隣接している。
3. 山形県は、関東地方の栃木県と直接境界を接している唯一の東北地方の県である。
4. 秋田県は、東北地方の中で唯一、中部地方の県と境界を接している。

問7 東北地方の太平洋側では、1980年や1993年のように、米の作況指数が著しく低下し、農業に深刻な打撃を与える年があります。このような事態を招く気象現象の説明として、最も適切なものはどれですか。(2019年 長野県公立入試 類似)

1. オホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東風「やませ」により、夏の気温が上がらず冷害が発生する
2. シベリア高気圧から吹き出す乾燥した北西の季節風が奥羽山脈を越え、太平洋側に大雪をもたらす
3. 小笠原高気圧の勢力が強まることで、太平洋側から高温で乾燥した風が吹き続け、深刻な干害が発生する
4. 発達した低気圧が日本海を通過する際、山を越えて吹き下ろす熱い風によって気温が急上昇するフェーン現象が起こる

問8 北海道東部の根釧台地は、夏でも気温が上がりやすく霧が発生しやすい気候条件や、火山灰に覆われた土地という特徴があります。このような自然環境を活かして、この地域で最も盛んに行われている産業の説明として正しいものはどれですか。(2026年 茨城公立入試 類似)

1. 広大な土地に牧草地を整備し、乳牛を飼育して生乳を生産する酪農が盛んに行われている。
2. 大規模な機械化によって、ジャガイモや小麦、甜菜（てんさい）などを生産する畑作が中心となっている。
3. 泥炭地を客土（他の場所から土を運び入れること）によって改良し、大規模な水田による稲作が行われている。
4. 冬の寒さを活かしたビニールハウス栽培が行われ、夏に都市部へ出荷する抑制栽培が発達している。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 奥羽山脈の東側に広がる平野や盆地を通るため、阿武隈川や北上川といった太平洋側に注ぐ河川と交差する。	東北新幹線は、東北地方の中央を貫く奥羽山脈の東側（太平洋側）に位置する盆地をつないで建設されました。そのため、福島盆地を流れる阿武隈川や、北上盆地を流れる北上川など、太平洋へ注ぐ主要河川と密接に関係したルートとなっています。山形県を流れる最上川は奥羽山脈の西側を通るため、東北新幹線のルートからは外れます。
問2	<b>答え 1</b> 東北地方	岩手県は本州の北東部に位置し、青森県、秋田県、宮城県、山形県、福島県とともに構成される地方に含まれます。この地方は、中央を奥羽山脈が走り、太平洋側と日本海側で気候や産業に違いが見られるのが特徴です。
問3	<b>答え 1</b> 冷害	「やませ」が吹くと、奥羽山脈に風が遮られることで太平洋側の地域に霧や雲が停滞し、夏の気温が上昇しなくなります。稲の開花や結実の時期に気温が低い状態が続くことで、米が十分に実らない現象を冷害と呼びます。これに対抗するため、東北地方では低温に強い品種（耐冷性品種）の開発や、水田の水を深く張って稲の根元を保温するなどの対策が行われています。
問4	<b>答え 1</b> 寒冷な気候による冷害を克服するために、耐寒性の高い品種への改良や、大規模な土地改良事業が進められたから。	東北地方は本来、冷害（やませ等による低温被害）を受けやすい地域でしたが、寒さに強い品種の研究開発や、機械化に適した大規模な水田の整備（区画整理やかんがい施設の充実）が進んだことで、安定した高い生産力を確保できるようになりました。現在では「コシヒカリ」や「ひとめぼれ」など、良質な銘柄米の産地としても知られています。
問5	<b>答え 1</b> 日本で最も長い国道4号が県内を南北に貫いており、関東地方と東北地方を結ぶ物流の大動脈となっている。	福島県は東北地方の南端に位置し、古くから関東と東北を結ぶ交通の拠点として発展してきました。日本で最も長い国道である国道4号は、東京都から青森県までを結んでおり、福島県内を南北に通過することで、東北地方全体の経済や生活を支える重要な役割を果たしています。
問6	<b>答え 1</b> 福島県は、東北地方に属しながら関東地方の県と境界を接している。	東北地方は6つの県で構成されていますが、その中で関東地方（茨城県、栃木県、群馬県）と直接陸上で接しているのは福島県のみです。宮城県や山形県は福島県よりも北に位置するため、関東地方の県とは接していません。このような隣接関係を理解することは、地方区分や物資の輸送ルートを把握する上で重要です。
問7	<b>答え 1</b> オホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東風「やませ」により、夏の気温が上がらず冷害が発生する	東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から「やませ」と呼ばれる冷涼な北東風が吹き込むことがあります。この風が長期間吹き続けると、夏でも気温が上がらず、日照時間も不足します。その結果、稲の生育が妨げられる「冷害」が発生し、過去には米の収穫量が平年の半分以下になるような深刻な凶作を招きました。
問8	<b>答え 1</b> 広大な土地に牧草地を整備し、乳牛を飼育して生乳を生産する酪農が盛んに行われている。	根釧台地は冷涼な気候と火山灰土壌のため、稲作や一般的な畑作には不向きですが、牧草の生育には適しています。そのため、広大な土地を利用した大規模な酪農が発達しました。十勝平野で行われている大規模な畑作との違いを理解しておくことが重要です。